

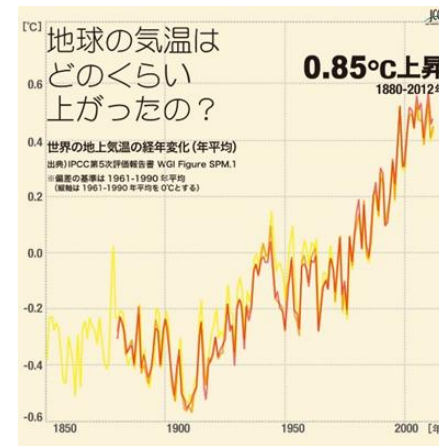
美幌町再生可能エネルギー導入戦略 概要版

～地域に根差した再生可能エネルギーが導く、美幌の課題解決と魅力向上。持続可能な未来の実現～



1 戦略策定の背景 本編P1～

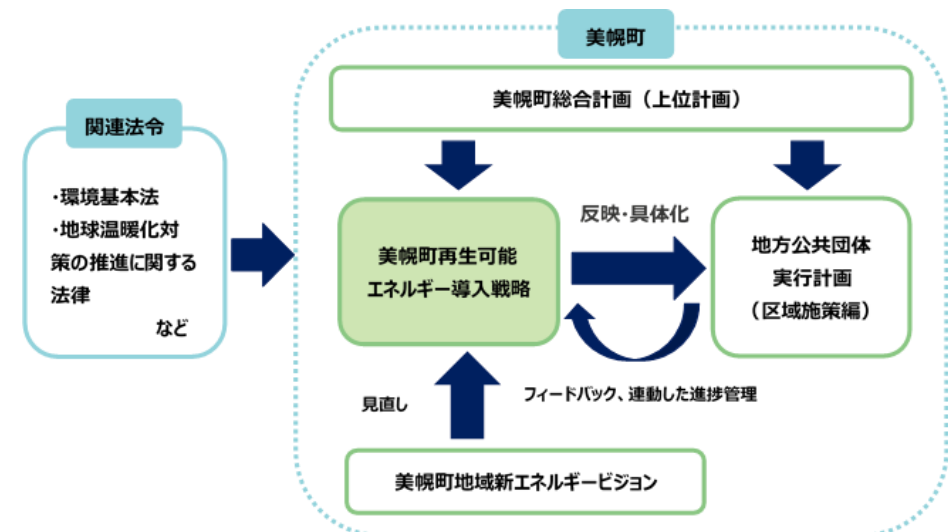
日本全体で2050年にカーボンニュートラルの実現に向けた取組が進められている中、美幌町においても再生可能エネルギーの導入・活用を通して、地域課題の解決と地域の魅力向上を図り、町民・事業者・行政など多様な主体の連携により、再生可能エネルギー導入の仕組みを構築し、「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。



2 戦略の位置づけ 本編P6～

2050年度までの脱炭素化を見据えた再生可能エネルギー導入の目標や方針を定めるとともに、目標の実現に向けての具体的取組等を検討し策定しました。

また、2016年に定めた「第2次美幌町地域新エネルギービジョン」の見直し計画であるとともに、今後策定予定の「地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の指針となるものです。



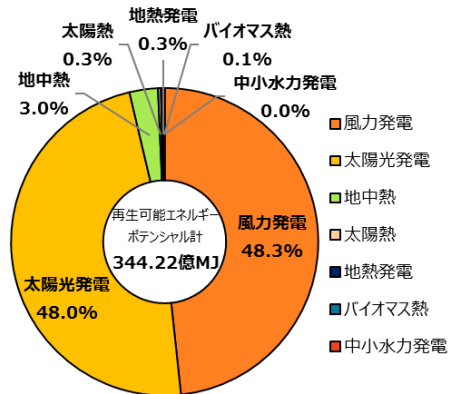
美幌町再生可能エネルギー導入戦略 概要版

～地域に根差した再生可能エネルギーが導く、美幌の課題解決と魅力向上。持続可能な未来の実現～



3 本町のポテンシャル 本編P29～

本町で最も可能性がある再生可能エネルギーは「太陽光発電」でした。「風力発電」もポテンシャルはありますが、そのほとんどが山間部であること等から導入が困難であると考えられるため、「太陽光発電」を中心とした取り組みを検討します。

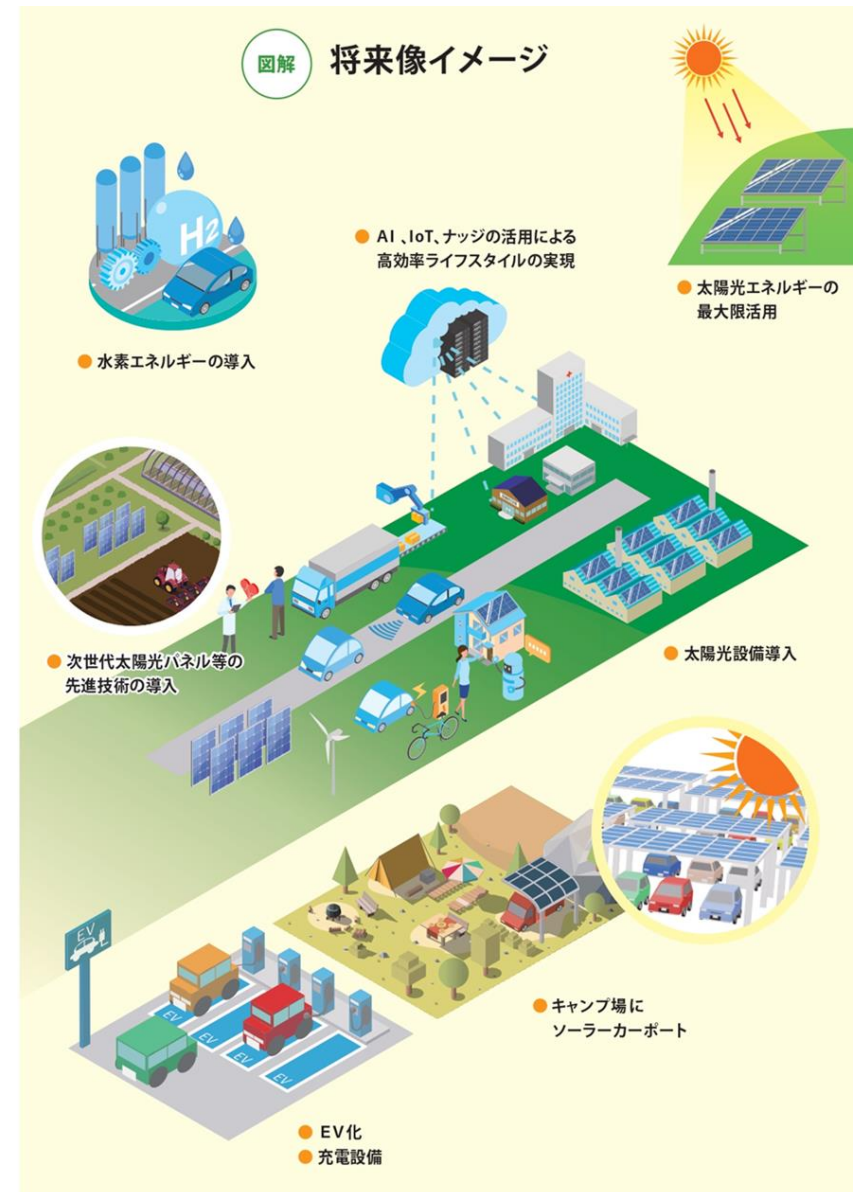


再生可能エネルギー種別	導入ポテンシャル (億MJ)
風力発電	166.28
太陽光発電	165.29
地中熱	10.32
太陽熱	1.05
地熱発電	1.03
バイオマス熱	0.25
中小水力発電	0
合計	344.22

4 目指す将来像 本編P40～

本町の特徴である豊富な太陽光エネルギーの最大限の活用により、地域課題の解決と地域の魅力向上を図ります。

町民・事業者・行政など多様な主体の連携により、再生可能エネルギー導入の仕組みを構築し、持続可能な美幌の未来を考え、ゼロカーボンシティの実現を目指します。



美幌町再生可能エネルギー導入戦略 概要版

～地域に根差した再生可能エネルギーが導く、美幌の課題解決と魅力向上。持続可能な未来の実現～



5 温室効果ガス削減目標と再生可能エネルギー導入目標 本編P42～

国や北海道の削減目標や、再生可能エネルギーの導入ポテンシャルを踏まえ、本町の目標を以下のとおりとします。

温室効果ガス削減目標

中期目標(2030年度)：2013年度比で**78.1%**の削減

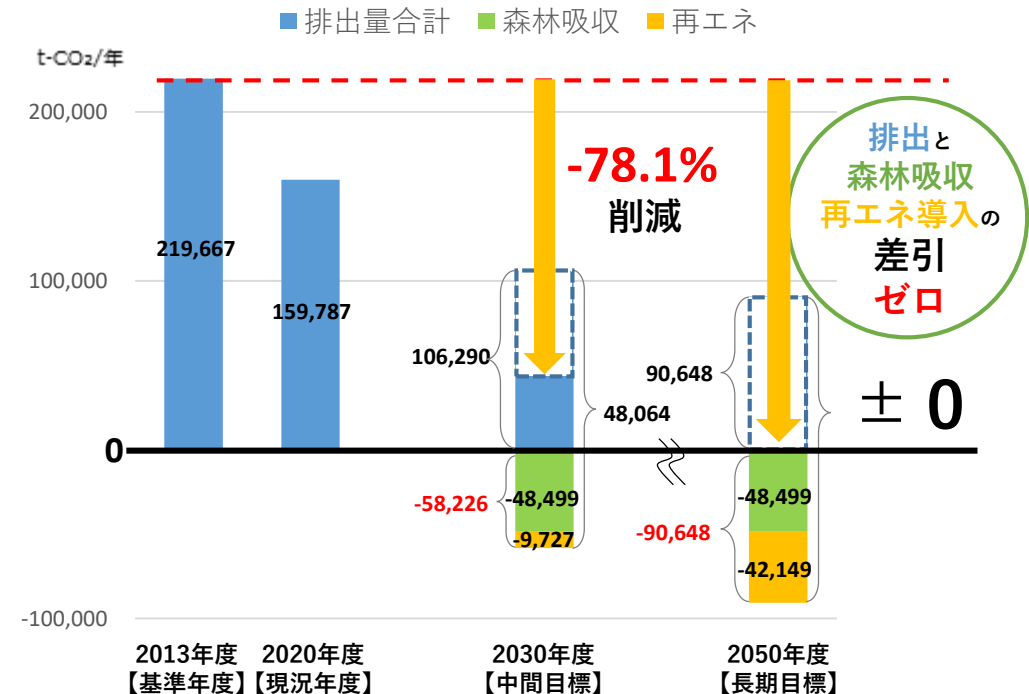
長期目標(2050年度)：二酸化炭素排出量**実質ゼロ**

再生可能エネルギー導入目標

中期目標(2030年度)：**30,211kW**
(発電量 38,445MWh/年)

長期目標(2050年度)：**130,914kW**
(発電量 166,595 MWh/年)

今後の技術革新等の動向に注視し、導入コストと効果を比較検討しながら、マイナスカーボンを目指す取り組みも検討します。



美幌町再生可能エネルギー導入戦略 概要版

～地域に根差した再生可能エネルギーが導く、美幌の課題解決と魅力向上。持続可能な未来の実現～

6 脱炭素に資する検討施策（重点構想）

本編P54～

重点構想 1 災害時のレジリエンス強化

※1



検討内容

- ◎公共施設等で太陽光等を利用した再生可能エネルギー設備の導入を検討します。
- ◎災害時には自立的に電力供給ができるよう、公共施設の脱炭素化・レジリエンスの強化の実現に向けた調査・検討を行います。

取組の効果

- ・主要な公共施設等に再生可能エネルギー設備を導入することにより、災害時においても安定した電源供給を実現し、地域のレジリエンス強化に寄与します。
- ・公共施設の再生可能エネルギーを活用した電気自動車の導入拡大等により、災害時の対応など様々な課題解決に向けた取組を推進します。
- ・都市機能の集約化と公共交通機関の利用促進により、移動等に係るエネルギー使用の削減につなげ、高齢者にも暮らしやすい生活空間を創出するまちづくりを目指します。

重点構想 2 企業立地と町内企業の活性化



検討内容

- ◎町内における再生可能エネルギー由来の地産地消電力の供給を事業者と協働の可能性を検討します。
- ◎一次産業の付加価値向上や雇用促進を図りながら、クリーンエネルギーで製造された特産品で地域経済に好循環を生み出すための検討を進めます。

取組の効果

- ・企業のカーボンニュートラル化を進めることで、製造された加工食品等はクリーンエネルギーで製造されている付加価値が付いた特産品となることが見込めるほか、企業の付加価値向上を見込むことができます。
- ・付加価値がついた特産品をふるさと納税の対象品とすることで、関係人口の増加が観光客の増加を呼び、一次産業を巻き込んだ好循環を生み出します。
- ・上記2点の効果を生かし、新たに再生可能エネルギーの活用に関心のある企業の立地を目指すことで、雇用の創出を図ります。

※1 災害時における回復力・防災力のこと

美幌町再生可能エネルギー導入戦略 概要版

～地域に根差した再生可能エネルギーが導く、美幌の課題解決と魅力向上。持続可能な未来の実現～

6 脱炭素に資する検討施策（重点構想）

本編P54～

重点構想3 関係人口の創出



検討内容

◎美幌みどりの村エリアへの再生可能エネルギー導入を検討します。

取組の効果

- ・クリーンなエネルギーを活用している付加価値をエリア全体に付与することで、観光や交流の機運を高め、関係人口の増加に寄与します。
- ・また、エリア内にはほかにも、「学び・体験」ができる、博物館や環境共生型住宅（エコハウス）もあり、クリーンエネルギーを導入することで更なる魅力向上を図ることができます。

重点構想4 環境意識の向上



検討内容

- ◎町民・町内事業者に対し、脱炭素に関する情報を積極的に発信します。
- ◎再生可能エネルギー設備導入の課題となる初期投資について、脱炭素の推進に向けた支援の在り方を検討します。

取組の効果

- ・町民一人一人の脱炭素に向けた取組の必要性・有用性の理解を深め行動変容を促します。

前述の4つの重点構想のほか、「産業部門」「業務その他部門」「家庭部門」「運輸部門」「その他横断分野」「省エネ施策」ごとに検討すべき取組を整理し、関係機関、企業等と調整、連携しながら取組の検討を行います。